

2026 知っておきたい 写真著作権セミナー 東京／京都

[講師]

池尾俊輔

ソニー株式会社 イメージングエンタテインメント事業部
カメラソリューション事業部門担当部長

棚井文雄

一般社団法人日本写真著作権協会常務理事
文化庁文化審議会著作権分科会委員

AI時代における写真著作権

C2PA って何?

写真の真正性と信頼性

撮影：大越邦生 HJPI320110003180

JPSホームページからお申し込みください



東京

5/30 [土] 14:00—16:00 (受付開始13:30~)

東京都写真美術館 1Fホール

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内

京都

6/14 [日] 14:00—16:00 (受付開始13:30~)

京都市勧業館みやこめっせ 大会議室

〒606-8343 京都府京都市左京区岡崎成勝寺町9-1

【問合せ先】公益社団法人日本写真家協会

〒102-0082 東京都千代田区一番町25番地 JCIビル303

TEL 03-3265-7451

info@jps.gr.jp

www.jps.gr.jp

2026 知っておきたい 写真著作権セミナー 東京／京都

東京 2026年5月30日(土) 14:00—16:00 (受付開始13:30~)

東京都写真美術館 1Fホール

京都 2026年6月14日(日) 14:00—16:00 (受付開始13:30~)

京都市勧業館みやこめっせ 大会議室

第1部

C2PA って何？ 写真の真正性と信頼性

講師：池尾俊輔 ソニー株式会社 イメージングエンタテインメント事業部
カメラソリューション事業部門担当部長

フェイクコンテンツが社会問題化する中、コンテンツの真正性への注目が世界的に高まっています。この分野で国際標準を策定しているのがC2PA (Coalition for Content Provenance and Authenticity: 以下C2PA)です。本講演では、写真の出所や来歴を記録し信頼性を与える国際標準規格C2PAとその業界動向を中心にクリエイターを守る技術とその将来性についてご紹介します。



撮影：池尾俊輔
(セルフポートレート)

池尾俊輔(いけお・しゅんすけ)

ソニー株式会社入社後、民生用・業務用を問わず多様なデジタルカメラおよびデジタルビデオカメラの設計・マネージメントに従事。現在は、撮影された画像・映像の信頼性や付加価値を高めるイメージングソリューションを担当している。

第2部

AI時代における 写真著作権

講師：棚井文雄 (一社)日本写真著作権協会 常務理事
(公社)日本複製権センター 代表理事副理事長

生成AIの急速な発展により、写真をめぐる著作権のあり方は大きな転換期を迎えています。本講演では、AIによる学習データ利用や生成画像をめぐる権利問題など、現代の写真家が知っておくべき著作権について解説します。



撮影：松尾香龍
HJPI320610001191

棚井文雄(たない・ふみお)

大倉舜二に3年間師事。独立後、『家庭画報』『ひととき』(新幹線グリーン車搭載誌)の連載や、『別冊太陽』などの仕事と並行し、中国、欧州での撮影を重ね、パリ、ニューヨークで個展を開催。文化庁芸術インターンシップ研修員を経て、2005年に渡英。その後ニューヨークを拠点に10年間活動。フランス国立図書館、在ニューヨーク日本国総領事館などに作品収蔵。著書に『考える写真著作権』(JPCA-日本写真著作権協会 2005年/加藤雅昭との共著)がある。文化庁文化審議会著作権分科会委員/日本大学芸術学部非常勤講師

日本を代表するプロフェッショナル写真家団体 公益社団法人日本写真家協会

(Japan Professional Photographers Society 略称JPS)

JPS

日本写真家協会(Japan Professional Photographers Society 略称JPS)は、昭和25(1950)年の創立以来、写真家の創作活動を奨励し、写真家の職能と地位確立のための活動を行っています。平成23(2011)年内閣府より公益社団法人への移行認定を受け活動しています。正会員は1,157名、名誉会員19名、賛助会員53社(2025年5月現在)で、わが国最大の職業写真家の組織です。東京都千代田区に事務所を持ち、写真著作権の啓蒙・普及、写真展の開催、写真技術に関する研究、国際交流、ニュースや会報の発行などを通して、写真文化の発展に寄与しています。